

レクレドールの09

153

全40口 ●1口75万円（総額3,000万円）

生産 白老ファーム 繋養 早来ファーム



153

シンボリクリスエス × レクレドール [メス]

*シンボリクリスエス Symboli Kris S 黒鹿 1999	クリス エス Kris S. 黒鹿 1977	Roberto	<i>Hail to Reason</i>
			Bramalea
		Sharp Queen	Princequillo
			Bridgework
メス・鹿毛 2009年 2月14日	ディー ケイ Tee Kay 黒鹿 1991	Gold Meridian	Seattle Slew
			Queen Louie
		Tri Argo	Tri Jet
			Hail Proudly
レクレドール 黒鹿 2001	*サンデーサイレンス Sunday Silence 青鹿 1986	Halo	<i>Hail to Reason</i>
			Cosmah
		Wishing Well	Understanding
			Mountain Flower
	ゴールデンサッシュ 栗 1988	*ディクタス	Sanctus
			Doronic
		*ノーザンテースト	
		ダイナサッシュ	*ロイヤルサッシュ(1)

ポイント

POINT

体高に恵まれ、群れの中にあっても一目で認識できる雄大な馬格を誇るのが本馬です。伸びのある四肢と無駄のない筋肉からなる体躯は素軽く、悍性の強い気性も相まって重苦しさを一切感じさせません。その姿から父が得意とした芝の中距離路線こそが本領発揮の場となるのは疑いようありませんが、父の産駒が不得手としがちな瞬発力の勝負でも母系一族自慢の「切れ味」が補完してくれるはず。すでに圧倒的な存在感を放つ本馬ですが、今後各パーツのバランスを保ちながら成長して、血統・馬体ともに非の打ち所がなくなれば、おのずと3歳春の大舞台へと導かれることでしょう。

母系

FAMILY

母の父 *サンデーサイレンス Sunday Silence は米国産、米年度代表馬、米9勝、ケンタッキーダービー-G1。本邦チャンピオンサイアー。本邦BMSチャンピオン。【BMS: 主な産駒】アドマイヤムーン(ジャパンC-G1)、スクリーンヒーロー(ジャパンC-G1)、ヴァーミリアン(ジャパンCダート-G1)、レジネッタ(桜花賞-JPN1)、ローズキングダム(朝日杯フューチュリティS-JPN1)

母 レクレドールは3~6歳時、27戦4勝、ローズS-JPN2、クイーンS-JPN3、同3着、札幌記念-JPN2 2着、阪神牝馬S-JPN2 3着、福島牝馬S-JPN3 3着、同5着、愛知杯-JPN3 4着、マーメイドS-JPN3 5着。本馬は第2仔

祖母 ゴールデンサッシュは5戦、入着。産駒

ステイゴールド: JRA特別賞、5勝、日経新春杯-JPN2、目黒記念-JPN2、同3着、天皇賞(秋)-JPN1 2着(2回)、天皇賞(春)-JPN1 2着、同4着、宝塚記念-JPN1 2着、同3着、同4着、同-G1 4着、日経賞-JPN2 2着、同3着、同4着、アメリカJCC-JPN2 2着、ダイヤモンドS-JPN3 2着、有馬記念-JPN1 3着、金鯱賞-JPN2 3着、鳴尾記念-JPN2 3着、京都記念-JPN2 3着、ジャパンC-G1 4着、京都大賞典-JPN2 4着、京都新聞杯-JPN2 4着、UAE 1勝、ドバイシーマクラシック-G2、香港1勝、香港ヴァーズ-G1。種牡馬

キャッチザゴールド: 4勝、淡路特別、和田岬特別

グレースランド: 4戦、入着。産駒

ドリームバスポート: 3勝、神戸新聞杯-JPN2、きさらぎ賞-JPN3、ジャパンC-G1 2着、皐月賞-JPN1 2着、菊花賞-JPN1 2着、阪神大賞典-G2 2着、京都2歳S-OP 2着、萩S-OP 2着、ダービー-JPN1 3着、スプリングS-JPN2 3着、有馬記念-JPN1 4着、京都記念-G2 4着、大阪杯-G2 4着

フィーリングトーン: 1勝、⑩

セイクリッドセブン: 1勝、⑩

ホイッスル: 不出走。産駒

ビッチサイドトウク: 3勝、マリーゴールド賞-OP 3着

メルヴェイユドール: 1勝、⑩

曾祖母 ダイナサッシュは9戦、入着。産駒

サッカーボーイ: 最優秀2歳牡馬、最優秀スプリンター、6勝、マイルチャンピオンシップ-JPN1、阪神3歳S-JPN1。種牡馬